

チゲはそろそろ終わり気味のようで花畑はパスして頂上へ。12:10 焼石岳には何度も来ているが中々頂上を踏む事がなく数十年ぶりに頂上に到着。暑さもぶっ飛び懐かしい想いで感激しました。昼食を済ませ冷たい水が待っている銀名水までひたすら下山、とにかく暑い。13:55 銀名水到着で冷たい水で一息、生き返った心地だ。15:30 登山口到着。とにかく今日は暑い一日だった。下界では 30 度を超えているのでは?この地獄のような暑さの中皆さんは黙々と歩き通しました。お疲れ様で〜す。(中根)

■6/22(土) 八幡平⇒参加者がないたため中止

■6/28(金)-30(日) 瑞牆山・金峰山と国師ヶ岳

参加者 CL/金子・SL/平井・秋元・藤倉 4名

6/28(金) 牧野林を 8 時に出て、初めての滝沢中央スマート IC から高速にのり 12:30 都賀西方 PA で昼食。順調に車を走らせ勝沼ぶどう YH に着いた 15:30。荷物を置き、両側に何処までも続くブドウ畑を颯爽と車を走らせ温泉へ向かいます。ブドウの香る温泉へザブーンと入り旅行気分でしたが、夕飯はやはりコンビニ弁当です。明日からの山登りがお天気に恵まれる事を祈りながら就寝。

6/29(土) YH の計らいで早めの朝食は、ピザトーストとコーヒーです。お腹を満たして 6:30 出発。標高 2360m の大弛峠 P は、既にたくさんの車でいっぱいです。7:48 出発。針葉樹林が続くが気持ちは高揚(紅葉)。急斜面を登ると 30 分位で朝日峠、小さなアップダウンを繰り返しながら進むとシラビソの立ち枯れの木が多く目立つ。たくさんの若者達に道を譲り譲られながら、樹林に入りガレ場を通過して朝日岳山頂にたどり着く 8:58。山腹の巻き道を進んで行くと、樹林が低くなり金峰山山頂(2595m)10:22。晴れていれば富士山等たくさんの山々が見えた事でしょう。山頂から少し岩を上ったりすり抜けたりにした所に巨大な五条岩が鎮座していました。鳥居の前で感謝を告げ、何度も大きな岩を見上げて来ました。

10:37 ゆっくり下山です。期待していたキバナシャクナゲは見る事が出来ませんでした。五条岩は圧巻でした。大弛峠 P まで下り、次は国師ヶ岳に向けて出発 13:15。木段・木道が繰り返し続く。整備された山は、太ももに負担がかかり疲れる。前国師岳を通過して、国師ヶ岳と北奥千丈岳の分岐に着いた時、北奥千丈岳に登る事にした。分岐から 10 分弱の山頂には金峰山同様展望盤が有り、何も見えないけど東西南北の山々を想像しながら



…14:22 金子さんが国師ヶ岳に登って来る事になり、私達は少し時間を潰しながら分岐まで下り、待ちながら歩いていたら…大弛峠 P15:30 に着いたら、金子さんがいてビックリでした。25 分も待ったとか、凄い足でした。二山登った後のご褒美は、きょうもブドウ香る温泉ですが、ほうとうや馬刺しの看板見ながら、夕飯はやっぱりコンビニ弁当です。

6/30(日) 予定より 2 時間以上も早く YH を出て瑞牆山荘 P に 6:15 に着いたのに、もう 30 台位車が停まっていた。準備をして瑞牆山目指して出発 6:30。大きな岩

の足下にたくさんの細い棒が立て掛けていて、まるでその岩を支えているようです。そんな岩が点在する所ををホッコリしながら進んでいると急斜面(里宮坂)になり、登りきって富士見平に着く。今度は急斜面を天鳥川まで下りロープが取り付けられていたけど慎重に渡渉 8:00。岩がパツクリと割れて、今にも桃太郎がでて来そうな桃太郎岩を過ぎると倒木が散在し、立ち入り禁止の看板も有る。何度も鎖・ロープ・鉄梯子を使いながら、大きな岩をつたったり、縫ったりしながら登りあげました。バンザーイ！山頂です(2230m)9:42。雲海の中にかろうじて富士山の胴を見て感動しました。いつでも富士山が少しでも見えるとウオーッと声が出てきます。足もとに注意しながらゆっくり下山です。瑞牆山の苔もたくさんの種類が有り、フワフワ・ゴソゴソした感触は最高でしたし、巨岩奇岩をゆっくり見ながら、もう一度トライしたい山でした。でも残念な事は山頂近くにはゴミが散在している事でした。無事に P に 12:22 着き忙しく出発です。牧野林に 9 時前に着きました。お陰様で今回も楽しい山行でした。長距離運転大変お疲れ様でした。(秋元)



■7/6(土) 網張のヒメボタル観察

参加者 CL/平井・秋元・石倉(+娘さん)・藤倉・女鹿 6名

前日、雨が降ったのでヒメボタルがたくさん見られるかもと期待して参加しました。6時半牧野林3名集合。あとの3名は網張ビジターセンターに現地集合です。天気は曇り空ですが、いつ雨が振りだすか心配なので、傘の準備はしっかりしてきたのですが、肝心のヘッドライトを忘れてしまいました。ホテルに優しい赤のセロファンつけて用意したのに！ビジターセンターの企画の10名はすでに埋まっており、勝手に観賞してくださいとの事らしく、到着した頃はまだ明るいので暗くなるのを待ちました。19時50分出発です。回りのみんなの明かりを頼りに階段を登り始めます。森のなかは、まだ薄暗かった空のあかりも遮り真っ暗です。目を凝らしてあたり見ていると、なかなか見えませんねえ〜。チカッ チカッ 現れました。一個見つけると、あっちにもこっちにもと、感激している少女のような声が聞こえだしました。下の草木でじっとして発光しているのはメス 飛翔して発光しているのはオスだそうです。ゲンジボタルやヘイケボタルより一回り小さいようで、我が家の廻りにも実はホテルがまだいるのですが、たぶん同じヒメボタルのような気がします。感激の声をききながら、30分ほどで戻って来ました。久しぶりの暗闇の冒険、ホテル楽しかったですね！ありがとうございました。(藤倉)

＊暗闇のため写真はありません

■<特別レポート> 百名山97座目・幌尻岳は遠かった

2023/8/29(火)-31(木)に挑戦しましたが、「中間点」のすぐ上の登山道の真ん中で子グマが2頭遊んでいて、親グマに助けをを求めるような鳴き声を出したので、登頂を諦めて下山しました。2024年リベンジとして小屋がすいていて暑くならない 7/8(月)-10(水)に計画しました。3名で行けそうでしたが、家庭の事情で辞退が相次ぎ、単独での挑戦となりました。いつもの苦小牧港 6:00 着のフェリーが定期点検で11日まで運休のためひとつ前の 1:30 着の便を予約しました。しかし、7/2に座礁事故を起こしてしばらくの間、これも運休となりました。仕方がないので、青森から函館の津軽海峡フェリーを予約。2:05 函館港着で3時間ほど余計に走らなければならなくなりました。



7/8(月) 2:20 函館港を出発。道央道・日高道を經由

して、途中休憩しながら新しい「日高厚賀 IC」で高速を降りて、一般道に出たところで燃料警告ランプが点灯しました。Google で近くのGSを探しましたが、朝7時前で「営業時間外」と表示されました。幸いGSには職員の方がいて給油してもらえました。それからすぐに林道に突入。デコボコの道をかかわしながら、イドンナップ山荘に9:00に到着しました。登山靴を履こうとしたら、なんと登山用の靴下を忘れてきたのが判明！仕方がないので普段用の靴下で決行することにしました。これが後々、足の裏を痛めることとなります。9:15 出発。ここでまたアクシデントが…。ゲートの間違って2つ並んだ左側から入山。2時間ほど歩いて行き止まりになりました。引き返して登山口を探してウロウロし、4時間遅れて13:15にやっと正しいゲートに気が付き再出発しました。トータルで9時間半もかかって18:45「新冠ボロシリ山荘」にたどり着きました。途中で雨が強くなってきて、傘をさしていましたがザックが濡れ、シュラフも濡れてしまいました。小屋は十分な空きがあって、すぐに場所を確保できました。早々に夕食を食べ7:00過ぎには就寝しました。

7/9(火) 3時頃から皆さん起き出してゴソゴソとうるさいので、早めに起きて朝食を済ませ、4:50登山開始しました。5:50「飛び石渡渉点」、ここからが急登に。7:10「1261m ピーク」、7:45「中間点」ここからが初体験となります。



急登の後、トラバースしてウサギギクが咲いていた水場を横切り、そこから更に急登になって「お花畑」に。コバイケイソウ・チシマフウロ・ハクサン



イチゲ・エゾクワガタ・チングルマ・ホソバツガザクラ・イワヒゲ・ウコンウツギ・アズマギクなどが花盛りでした。しかし、花を眺める余裕もなく必死でよじ登り、10:15 やっと山頂に到着しました。山頂には糠平(ぬかびら)コースからの登山者が4名がいました。「幌尻が97座目です」といって、女性の方が「私は98座目」とのことでした。出発の時は青空で、時折太陽が顔をのぞかせていたのが、頂上に着くころにはガスがかかって、何も見えません。10:35に下山開始。

「中間点」12:00に、このころから雨が強くなってきて合羽を着用、登山道は滑りやすくなっていて、2回ほどコケました。「飛び石渡渉点」13:00、小屋には13:45に帰り着きました。登り5:30、下り3:30で合計9時間の歩行となりました。

7/10(水) 朝食後、5:35に2日間お世話になった小屋を出発。天気も良く、足の裏が痛いものの順調に下山し、9:45「イドンナップ山荘」に着きました。10:00に出発して苦小牧港に13:15到着しました。早い便があったら変更してもらおうと思ったが、生憎なかつたので18:30からの乗船手続き、19:50乗船とタダタダ時間をつぶしました。乗船してすぐに「展望浴場」に入り、3日分の汗を流し、疲れを癒しました。7/11(木) 予定より早く4:40に八戸港到着、5台目で下船し、八戸道の一戸ICで下りて18:25に帰宅しました。百名山97座目「幌尻岳」はいろんな意味で遠かったですが、やり遂げました。(平井)



■7/13(土) 秋田駒ヶ岳⇒平井に用事ができたため中止